

自治基本条例をつくる会 会議概要

第4回会議	
開催日時	平成19年6月15日(金)18:30~20:30
開催場所	山陽小野田市役所 第2委員会室
出席会員	14名(5名欠席) 岩本信子、衛藤弘光、岡村啓二、河野朋子、木林紀生男 草田和枝、杉本保喜、徳重洋子、縄田祥子、林久芳、 松尾朱美、室住友子、山田義隆、弓取康英
出席職員	市長公室長・行政改革課職員3名
協議概要	(1)新入会員紹介 1名 (2)広報活動について 持ち寄ったパンフレット案について各会員から説明。 未来への思い。住みよい町平等な生きがいのある町をイメージ。 分かりやすく、自治基本条例の硬いイメージの払拭。市民が主役とのフレーズを使った。 会員を増やす呼びかけを主眼。 現状を省みてこのままではいけないとの思いを発信。 市民・議会・行政が一体に成長するイメージ。 市民参画を促す、行政運営の満足度を問う内容でイメージ。 ⇒持ち寄った案文は大別すると 参加を呼びかける内容・ポスター的内容・ニュース便り内容に分かれている。 すべてやってみてもよい。 参加を呼びかける案文を中心に検討。 疑問符の付くフレーズで問いかけが良いのでは？ 室住さんが提案のフレーズが分かりやすいのでは。 6月15日号広報に参加を呼びかける掲載に使われた写真などは出来れば笑顔であるとか表情・動きのあるものを使って欲しかった。 自治基本条例による普遍的な市民本位の姿勢をなげかけては。 広報活動とは別に口コミ活動は続けていく。 自治基本条例との呼び名は硬い。別の言い方に出来ないか。 既に広報しており混乱をきたさないか。 受け入れやすいタイトルで括弧書きで対応する手もある。 まだまだ行政まかせな部分が多いので、人任せでいいの？との呼びかけはインパクトを感じる。 ⇒何故、自治基本条例と呼ぶのかを考えてもらいたい。 まちづくりとの呼び名はハードを意識させる。自治の仕組みをルールづけるもの名前はなんでもいいとの考えもあるが、自治との表現がしっくりくるところもある。 こだわるものではない。皆さんで話し合ってもらいたい。 市民がつくるということに意味がある。したがってより多くの人に参加してもらいたい。 情けない時代だからこそこの条例が生きてくると見ている。 名前によって人が集まったり集まらなかったりするわけではないのでは。 条例づくりの主体性は市民にある。 知識のあるなしは関係なく多くの人に参加を呼びかけていこう。 若干、議論が後戻りしている。参会の皆さんの意見はほぼ一致している。 とにかく分かりやすい言葉を使って呼びかけよう。 レイアウトは河野さんのものが良いのでは。

弓取さんのイラストは面白い、少し修正してポスターに使えないか。
全員でキャッチコピー及び大まかなレイアウトの選定を行う。
全戸配布することを決定。

(3)編集委員を選任

河野、岡村、弓取、杉本、山田、室住さんを選任。

(4)次回以降の開催について

6月27日(水)、7月11日(水)、7月25日(水)の18:30～